

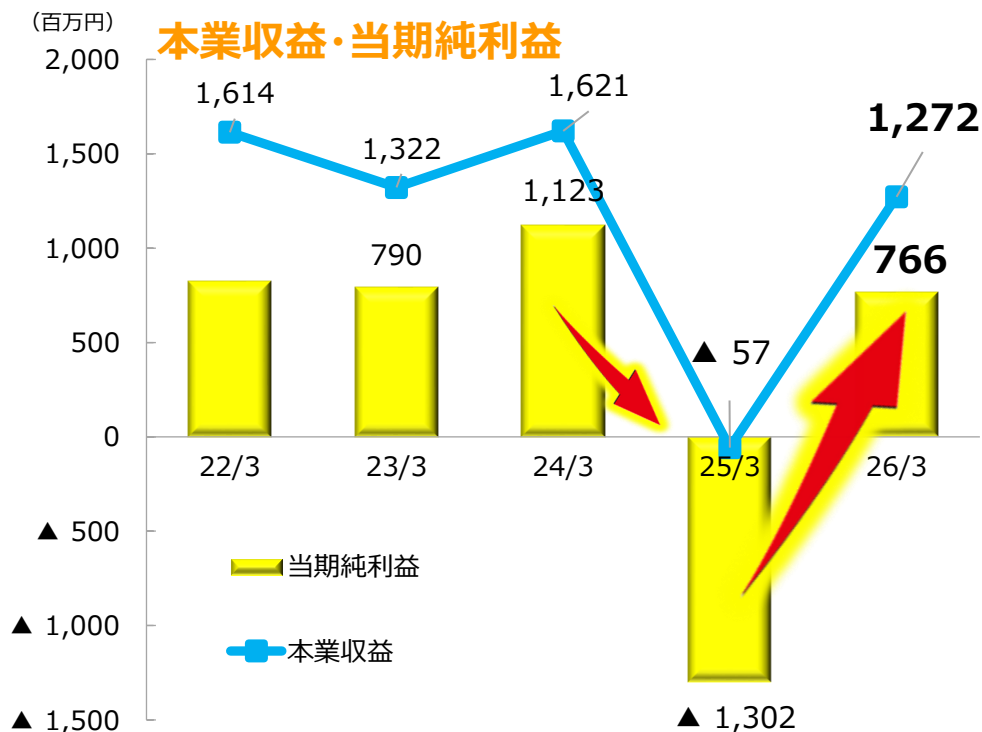
# 2025年度（2026年3月期） 決算の概要

1. 決算トピックス	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 決算の概要	・ ・ ・ ・ ・	6
3. SHINふくぎん 中期経営計画	・ ・ ・ ・ ・	13
4. SBIとの連携	・ ・ ・ ・ ・	25
5. 地域を元気にする取組み	・ ・ ・ ・ ・	29
6. 当行のプロフィール	・ ・ ・ ・ ・	34



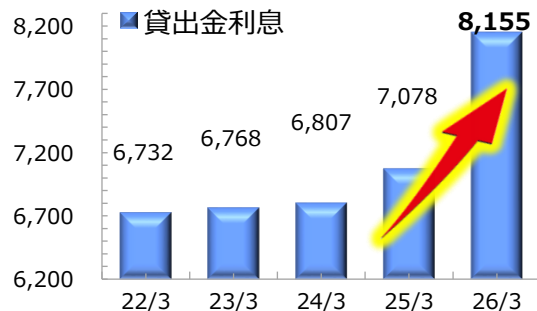
# 1. 決算トピックス

# 1.決算トピックス (本業収益・当期純利益)



**2026年3月期は増収増益  
本業収益・当期純利益ともに  
黒字転換！**

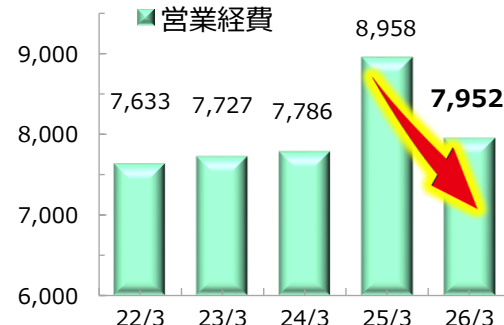
- ・ システム更改に伴う一過性の費用により、赤字決算となった2025年3月期から**V字回復！**
- ・ 貸出金利息および受入手数料が増加  
営業経費は減少 増収増益となった



- ・ 貸出金残高の増加および政策金利の上昇により、貸出金利息増加



- ・ 社債引受手数料、投資信託販売手数料増加により、受入手数料増加

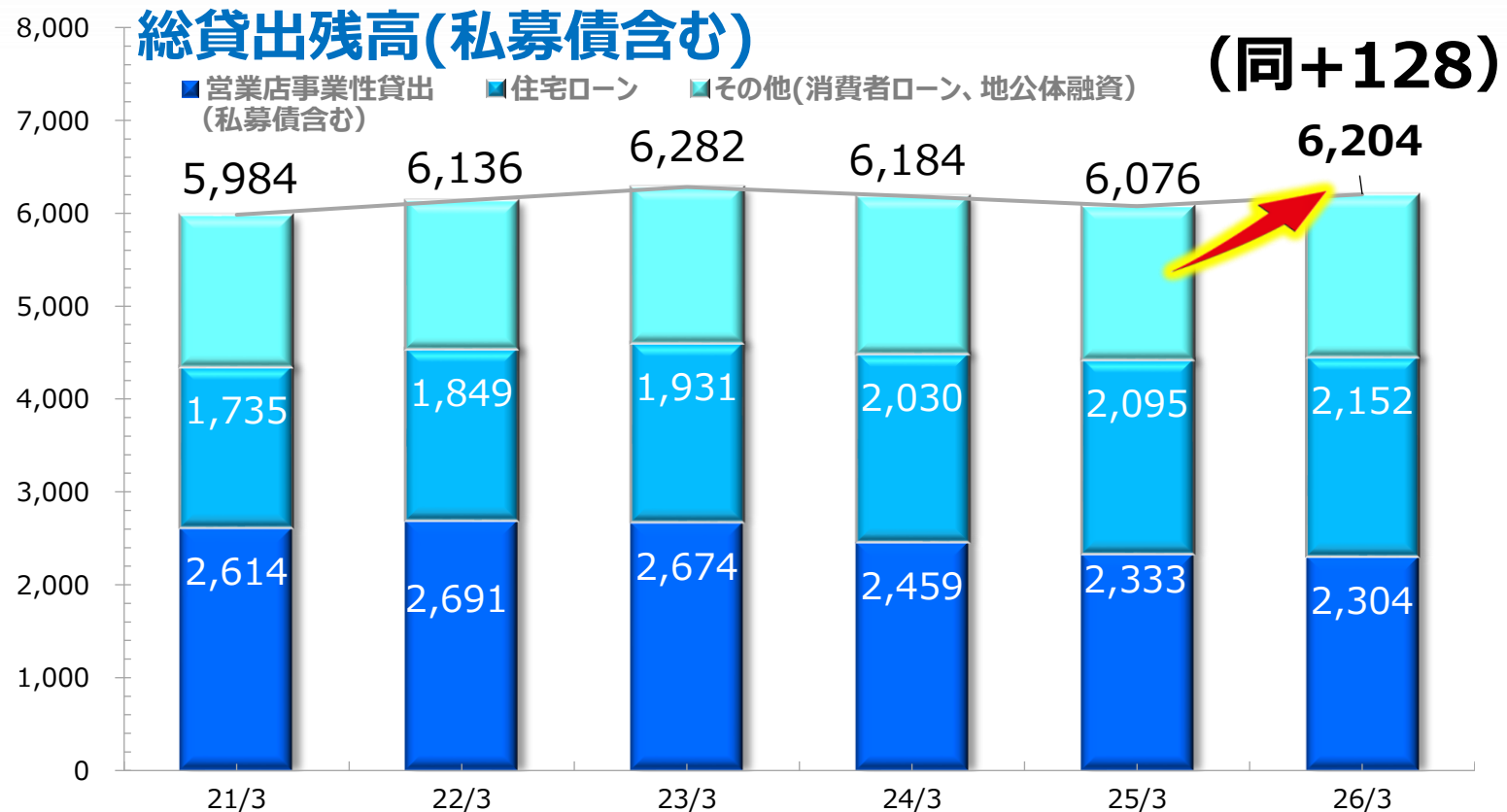


- ・ 前年度の新システム稼働により増加していた物件費や人件費が減少

## 総貸出残高(私募債含む)は、6,204億円(前年度比+128億円)

- ・ 営業店事業性貸出残高(私募債含む)は、2,304億円と、コロナ関連融資の返済などが進み▲29億円
- ・ 住宅ローンはローンプラザを中心に推進し、過去最高の2,152億円と同+56億円

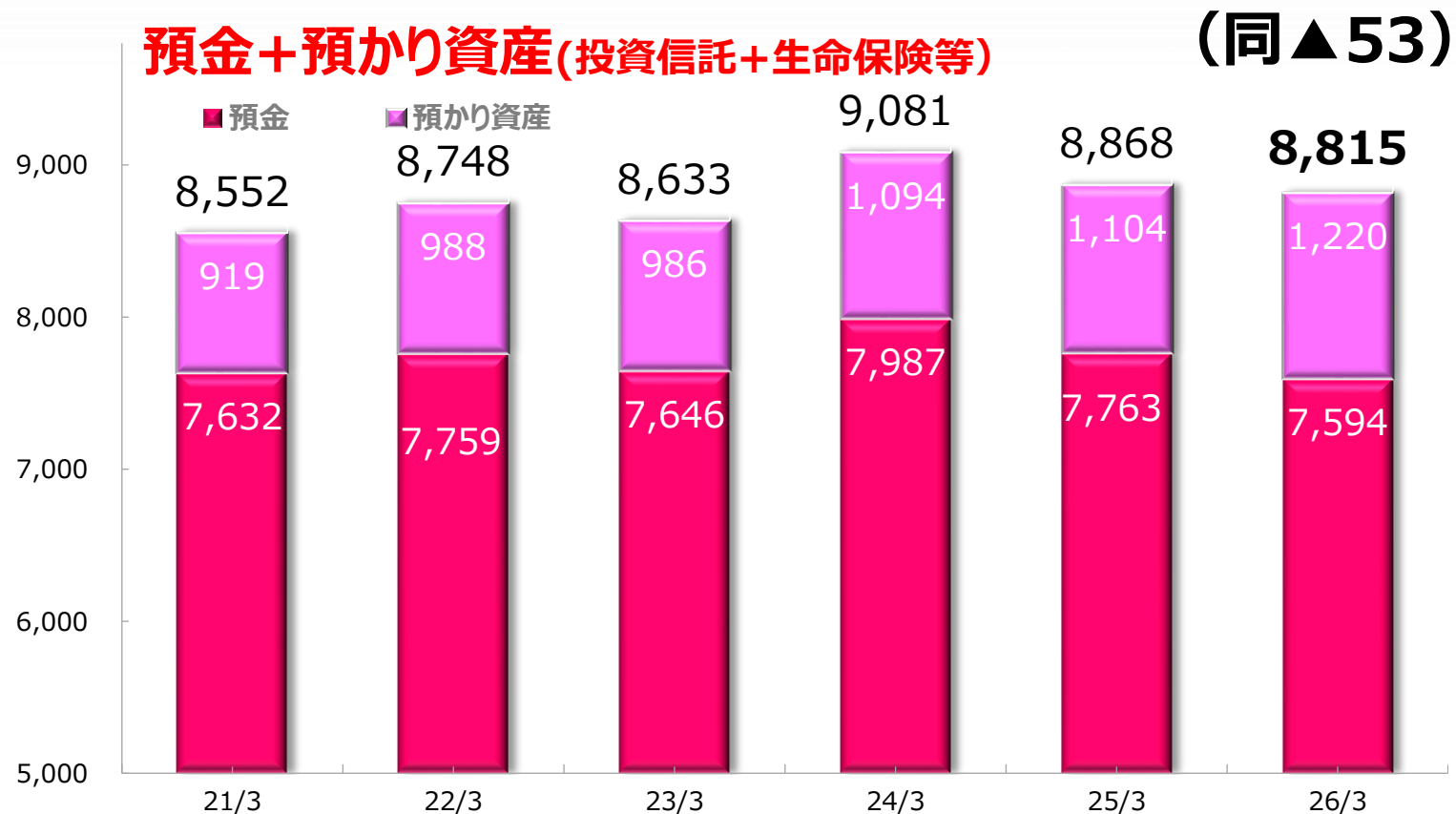
(億円)



## 総預かり資産(預金+預かり資産)の残高は、8,815億円(同▲53億円減少)

- ・ 総預金は7,594億円と、地公体預金の減少などにより同▲169億円減少
- ・ 預かり資産は販売額が増加し、過去最高の1,220億円と同+116億円の増加

(億円)





## 2. 決算の概要

## 2.決算の概要 (2026年3月期の実績)

### 単 体

	26/3	25/3	前年度比
1 経常収益 (①+⑦)	127	108	19
2 業務収益①	125	106	19
3 貸出金利息	81	70	10
4 有価証券利息配当金⑦	13	8	5
5 (A)投信解約益	2	0	2
6 受入手数料等	28	26	2
7 国債等債券売却益②①	-	-	-
8 業務費用③	113	110	2
9 預金利息	18	5	13
10 一般貸倒引当金繰入④	0	▲1	1
11 国債等債券売却損・償還損・償却⑤②	1	4	▲3
12 営業経費	79	89	▲10
13 人件費	34	35	▲0
14 物件費	39	47	▲7
15 業務純益⑥ (①-③ (金銭の信託見合費用除く))	12.7	▲4.3	17.1
16 (B)コア業務純益 {⑥- (②-⑤) +④}	14.8	▲0.5	15.3
17 <b>本業収益 (投信解約損益除くコア業務純益) (B)-(A)</b>	<b>12.7</b>	<b>▲0.5</b>	<b>13.3</b>
18 臨時収益⑦	1	2	▲0
19 株式等売却益⑨	0	0	▲0
20 償却債権取立益	0	0	0
21 臨時費用⑧	7	10	▲2
22 個別引当金繰入額	6	5	1
23 株式等売却損・償却⑩	0	0	0
24 臨時損益⑨ (⑦-⑧)	▲5	▲8	2
25 経常利益 (⑥+⑨)	6.9	▲12.6	19.5
26 特別損益	0	▲3	3
27 法人税等	▲0	▲3	2
28 当期純利益	7.6	▲13.0	20.6
29 不良債権処理費用	6.3	4.8	1.5
30 有価証券関係損益 (⑦+①-②+③-④)	11.5	3.3	8.1

### 26年3月期 損益状況

**26年3月期は増収増益**  
**貸出金利息や有価証券利息配当金の増加、  
 営業経費や臨時費用の減少などにより黒字決算**

- **業務収益は125億円。前年度比+19億円の増収**
  - ・ 貸出金利息は、貸出金平残が7億円増加し、貸出金利回りが同0.185%上昇したことにより、同+10億円
  - ・ 有価証券利息配当金は平残が90億円増加し、利回りが同+0.281%上昇したことから同+5億円
  - ・ 受入手数料等は、社債引受手数料や投信窓販手数料の増加などにより同+2億円
- **業務費用は113億円と、同+2億円の増加**
  - ・ 預金利息は、平残が▲116億円減少するも、預金利回りが同0.170%上昇した結果、同+13億円
  - ・ 営業経費は、前年度の新システム稼働により増加していた人件費及び物件費の減少により同▲10億円
- **コア業務純益は14.8億円 (同+15.3億円)、  
本業収益は12.7億円(同+13.3億円)とともに大幅な増益**
- **臨時損益は+2億円となり経常利益は+19.5億円**
- **業務収益は貸出金利息や有価証券配当金などが増加し増収  
預金利息の増加により業務費用は増加したものの、  
営業経費と臨時費用の減少、特別損益の改善により、  
当期純利益は7.6億円 (同+20.6億円) と増益となった**

## 2.決算の概要（貸出<私募債含む>）

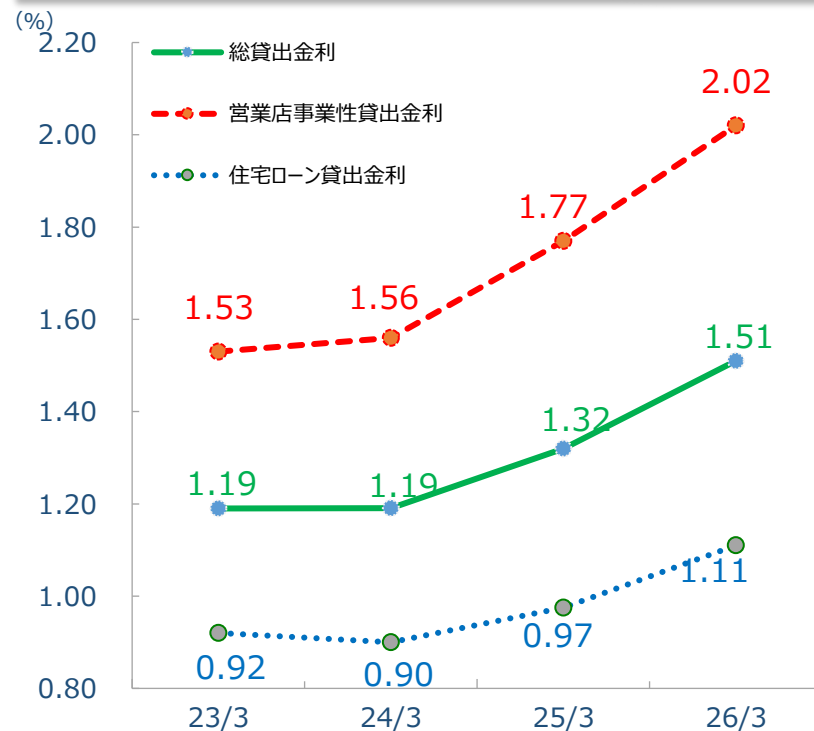
- 貸出残高（私募債含む）は、6,204億円。前年度比+128億円の増加
  - ・ 事業性貸出（私募債含む）は、新型コロナウイルス関連融資の返済により▲25億円の減少
  - ・ 消費性貸出については、住宅ローンが好調に推移し、同+45億円の増加
- 貸出平均約定金利は、営業店事業性貸出、住宅ローン貸出金利ともに上昇し1.51%（同+0.19%）

### 貸出 残高推移

（億円）

	23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
事業性	3,072	2,880	2,746	<b>2,721</b>	▲25
営業店	2,236	2,094	2,018	<b>1,994</b>	▲23
私募債	438	365	315	<b>309</b>	▲5
本部	398	420	412	<b>416</b>	3
消費性	2,207	2,295	2,349	<b>2,395</b>	45
住宅ローン	1,931	2,030	2,095	<b>2,152</b>	56
消費者ローン	229	220	211	<b>203</b>	▲8
消費性その他	46	44	42	<b>38</b>	▲3
地公体	921	907	919	<b>1,008</b>	88
その他	81	101	60	<b>80</b>	20
合計	6,282	6,184	6,076	<b>6,204</b>	128
平 残	6,157	6,186	6,121	<b>6,101</b>	▲20

### 貸出平均約定金利



## 2.決算の概要 (預金<NCD含む>・預かり資産)

- 預金と預かり資産を合わせた総預かり資産残高は、前年度比▲53億円減少し、8,815億円  
・うち預金残高は、同▲169億円減少し、7,594億円。預かり資産残高は、同+116億円増加し、1,220億円
- 預かり資産の販売額は、投信販売額が同+38億円増加、保険は同+35億円の増加
- 預かり資産の販売手数料は、投資信託・保険販売額の増加により同+1.4億円増加し、12.9億円

### 預金＋預かり資産の残高推移

(億円)

	23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
預 金	7,646	7,987	7,763	<b>7,594</b>	▲169
個人	4,990	4,961	4,922	<b>4,856</b>	▲66
法人	2,068	2,107	1,882	<b>1,875</b>	▲6
地公体	483	695	776	<b>640</b>	▲135
金融機関	104	222	182	<b>221</b>	39
預かり資産	986	1,094	1,104	<b>1,220</b>	116
投 信	403	446	434	<b>519</b>	85
保 険	562	628	647	<b>673</b>	26
公共債	20	19	23	<b>27</b>	4
合 計	8,633	9,081	8,868	<b>8,815</b>	▲53

### 預かり資産 販売額推移

(億円)

	23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
投 信	136	165	208	<b>247</b>	38
保 険	92	157	105	<b>140</b>	35
公共債	2	5	6	<b>9</b>	2
合 計	231	328	319	<b>396</b>	76

### 預かり資産 販売手数料推移

(※SBIマネープラザ手数料を含む)

(億円)

	23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
合 計	8.9	11.6	11.5	<b>12.9</b>	1.4

## 2.決算の概要 (有価証券)

- 有価証券の残高は1,619億円 (前年度比+5億円の増加)
  - ・ 債券中心の元本毀損リスクの低いインカム運用方針を継続
- 有価証券の評価損益は▲89億円 (同▲7億円の悪化)
  - ・ 株式及び投資信託の評価損益が改善するが、日銀の追加利上げ観測を背景とした国内金利上昇により債券の評価損が拡大
  - ・ SBIグループと引き続き連携し、有価証券ポートフォリオの状況や課題を共有し評価損の拡大を抑えていく
- 債券のデュレーションは6.9年 (同▲1.2年の短期化) 有価証券利回りは0.76% (同+0.28%の上昇)

### 有価証券 残高推移

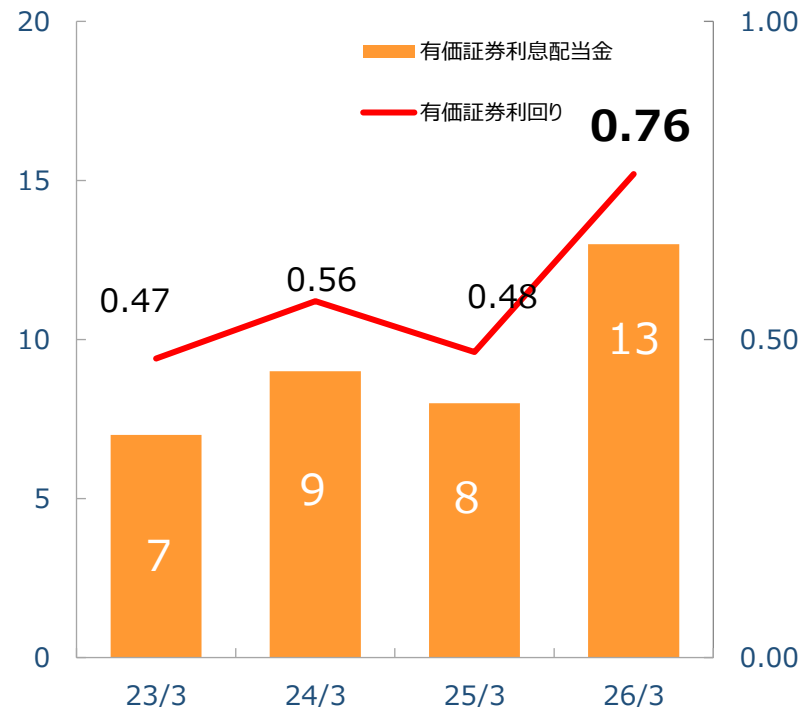
(億円)

	23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
債券	911	860	938	970	32
国内債	891	851	933	967	34
外国債	19	8	4	2	▲1
投資信託	618	638	619	585	▲33
外債型	618	624	614	567	▲46
株式型	-	-	-	0	0
その他	-	14	5	18	12
株式	20	20	18	26	7
その他	32	40	36	36	0
合計	1,583	1,559	1,613	1,619	5
保有有価証券の 評価損益	▲28	▲66	▲81	▲89	▲7
債券の デュレーション(年)	9.7	7.9	8.2	6.9	▲1.2

### 有価証券利息配当金と有価証券利回り

(億円)

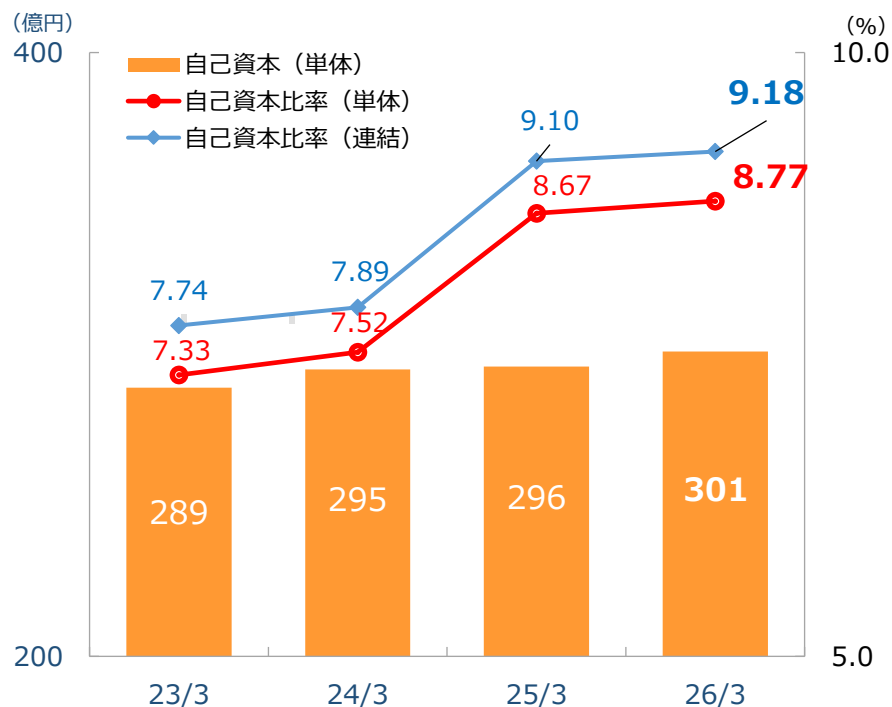
(%)



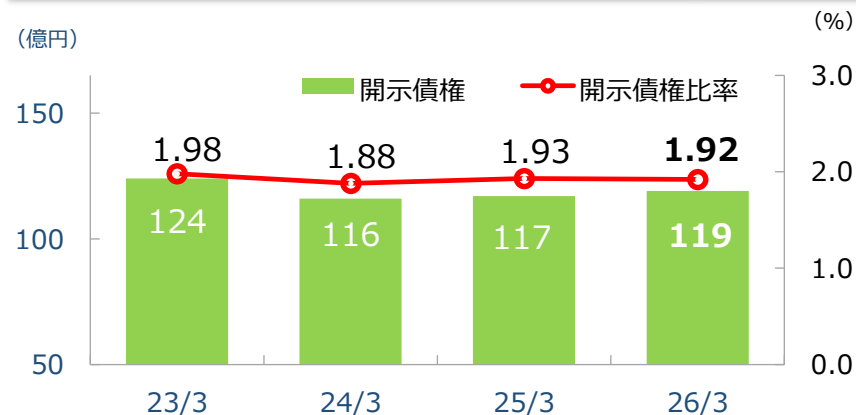
## 2.決算の概要 (健全性)

- 自己資本比率は、利益の積み上げにより8.77%（前年度比+0.10%）と増加、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は9.18%（前年度比+0.08%）
- 金融再生法開示債権は、119億円（同+1.6億円）  
金融再生法開示債権比率は、1.92%（同▲0.01%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、6.3億円（同+1.5億円の増加）

### 自己資本比率



### 金融再生法開示債権比率



### 与信関連費用

(※) 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額  
+ 貸出金償却等 - 貸倒引当金戻入額

(億円)

23/3	24/3	25/3	26/3	前年度比
3.3	3.0	4.8	6.3	1.5

## 2.決算の予想および今後の見通し

- 2026年度（2027年3月期）は、8億円程度の当期純利益を見込んでおります。
- 2025年度（2026年3月期）の配当は、予定通り1株あたり5円とさせていただきます。  
2026年度（2027年3月期）の配当は、1株あたり5円を予定しています。

### 2026年度（2027年3月期）決算予想

(億円)

		24/3月期 実績	25/3月期 実績	26/3月期 実績	27/3月期 予想
単 体	経常収益	109	108	127	140
	経常利益	14	▲12	6	10
	当期純利益	11	▲13	7	8
連 結	経常収益	133	134	151	166
	経常利益	11	▲11	6	11
	親会社株主に帰属する 当期純利益	8	▲12	7	9



### 3. SHINふくぎん 中期経営計画

## SHINふくぎん 中期経営計画 (2024年4月～2029年3月)

基本方針

### 「デジタル」のチカラで「リアル」の力を最大化

基本戦略

DX  
(デジタル)

次世代バンキングシステムを最大限に活用し、徹底的に業務のDX化(デジタル)を図ります  
リテールビジネスはスマホで完結。  
お客さま利便性の向上を目指します

対面営業  
(リアル)

事務量の半減により、本部から営業店へ、店頭から渉外へ人員を再配置します  
対面(リアル)での「事業者支援」と「資産形成支援」に人的資源を集中します

人材開発

エリアでの営業体制を構築し、人材育成に注力します。  
対面営業の質的・量的向上を目指し、コンサルティング力に優れた人材の育成を図ります

## 2025年度は「体制整備」の年！

### ● SHINふくぎん 中期経営計画 スケジュール

### 2025年度の主な取り組み

	年	ハイライト
1	2024	新システムの安定稼働
<b>2</b>	<b>2025</b>	<b>体制整備</b>
3	2026	安定した収益の計上
4	2027	収益の拡大
5	2028	ビジネスモデルの確立

#### 【DX】

- ① 次世代バンキングシステム STEP2 (7月)
- ② 「ふくぎんアプリ」アップデート (9月)

#### 【対面営業】

- ① 「エリア営業体制」の導入 (4月)
- ② 本部組織の改正 (7月)

#### 【人材開発】

- ① フェロー制度の拡充 (7月)
- ② 研修の強化 (10月)

10年後の目標……デジタルトランスフォーメーションとコミュニケーションで福島を元気にする銀行

**2026年3月期 当期利益7億円**  
**通期目標5億円 達成！**

## ● SHINふくぎん 中期経営計画 ビジネスモデル

- ① 次世代バンキングシステムを活用して業務を効率化
- ② 営業に人員を振り向け、店舗戦略(エリア営業体制)、人材開発により対面営業の「質」と「量」を増加し、収益力を向上  
→ 渉外社員全体の「質」(人材育成)と「量」(渉外社員数)を増加

**2026年度(3年目)**は、中期経営計画を“**深化**”させ、  
**社員一人あたりの生産性の向上**を図る

= 営業活動の

}	「質」的向上 - 営業情報やAIの活用等による提案の質を高める
	「量」的向上 - お客さまとの接点増加

### 2026年度テーマ

**中期経営計画の実効性向上を図り、  
お客さまの課題解決を通じた  
金融仲介機能の更なる発揮を目指す**

- 2025年度までの体制整備を基盤に、**基本戦略の“深化”**を図る

2026年度テーマ

**中期経営計画の実効性向上を図り、  
お客さまの課題解決を通じた金融仲介機能の更なる発揮を目指す**

## 2026年度 中期経営計画 基本戦略の“深化”

対面営業（リアル）

営業活動の高度化

DX(デジタル)

FutureBANK、  
生成AI等を活用した  
業務効率化

人材開発

研修の更なる充実

基盤

2025年度までの体制整備

対面営業

## 質の高い提案×お客さま接点の増加！

### 対面営業の強化

お客さまごとのストーリーに基づく提案を目指す

法人：事業の継続、成長支援 個人：資産形成のサポート

**「質」の向上** ・ FutureBANKに蓄積した情報や生成AI活用による営業活動の高度化  
・ 人材開発による提案力の向上 CA、法人CAの配置  
→ お客さまのニーズに即した質の高い提案を目指す

**「量」の向上** ・ DXの活用による業務効率化で渉外社員数、顧客訪問件数を増加  
→ お客さまとの接点増加

お客さまのニーズに  
即した質の高い提案

営業活動の「質」



DXによる  
お客さまとの接点増加

営業活動の「量」

## お客さまごとにより多くの最適な課題解決を実現

※ CA（コンサルティングアドバイザー）：資産運用に係る業務に専門的に従事する社員

※ 法人CA（コンサルティングアドバイザー）：事業者支援に係る業務に専門的に従事する社員

New!

職域ビジネス

## 新しいビジネスモデルの構築！

### 企業型DCの推進

#### 人材確保と従業員の将来設計を支える企業型確定拠出年金制度

- ・ 企業型確定拠出年金制度（企業型DC）は企業年金制度  
→ 「人材確保」と「従業員の長期的な資産形成支援」に寄与
- ・ 2026年4月より「SBIみらい年金」の取扱開始  
→ **本業支援**によりお客さまの事業の継続や成長を支える取り組み
- ・ SBIみらい年金取扱金融機関の営業事務、申請事務を引き受け予定→**新たな収益モデル**に

企業型DC導入は  
大企業が中心

#### <課題>

- 中小企業では企業型DC導入ノウハウ等が不足  
→ 従業員の転職・退職時資産が目減りする問題
- 地方における人手不足の深刻化

#### <SBIみらい年金> (企業型DC)

- ① 少人数・役員のみでも導入可能
- ② 税制優遇を活かしたコスト効率の高い制度
- ③ 低コストで充実した運用ラインナップ

#### <期待される変化>

- 福利厚生 の 充実
- 従業員の長期的な資産形成支援  
→ 安心して働ける環境  
→ 人材確保  
事業の継続・成長



アプリアップデート

## お客さまの利便性向上！

## ふくぎんアプリのさらなる進化！

■ ふくぎんアプリは続々と機能を追加し、ますます便利に！

### 「ふくぎんアプリ」 リニューアル (24/7)

- ① 生体認証ログイン実装！
- ② トップ画面で残高確認可能に
- ③ 振込が簡単に！



### スマホATM機能追加 (24/11)

キャッシュカード不要！  
アプリでコンビニATMで  
入出金が可能に



### 「ふくぎんアプリ」アップデート (25/9)

- ① 「資産の見える化」  
預金、預かり資産、  
ローン残高をまとめて  
アプリで確認可能に！
- ② ローンのお申込～契約まで  
アプリで完結可能に！



2025年

2026年～

お客さまの  
利便性向上

2024年4月

SHINふくぎん  
中期経営計画  
スタート

### アプリ専用定期預金 「UP」発売 (24/10)



### アプリ専用定期 「ガソリン券でホッと 定期預金」(25/12)



預入金額に応じ  
「ガソリンのギフト券」  
プレゼント！

### 「ステップアップ型 円定期預金プラス」 (愛称: # あいちゃんプラス) (26/2)



アプリから預入可能！  
1年ごとに金利アップ  
継続して5年目までお預け入れて  
最大金利**1.0%**！（税引前）

アプリアップデート

さらに便利に、使いやすく！

直近の追加機能

## ● ステージUPプログラム(26/3)

- お客さまのライフスタイルに合わせて、**お客さま自身が下記の中から“手数料0円”を選んで使える優遇プログラム**

- ・ 他行宛振込
- ・ 当行ATM時間外手数料
- ・ コンビニATM手数料 (スマホATMも含む)
- ・ ゆうちょ銀行ATM手数料

- 優遇ステージは、お客さまがご利用される各種取引や残高に応じて適用

- アプリ利用さえあれば**月3回まで手数料0円**を利用可能！  
最上位ステージなら  
月最大10回まで手数料0円！



## ● 目的別口座 (26/3)

- 「マイカー」「旅行」「推し活」など、**目的に合わせて管理できる口座**
- お客さまの貯蓄目的に合わせて**最大10口座**まで作成可能！毎月の積立額、目標金額、期間、口座名は自由に設定可能
- 達成状況がアプリ上で一目でわかり、**毎月決まった日に設定された金額を自動積み立て！**

たとえば……

車検のために毎月10日に  
5,000円ずつ2年間積み立てしたい！



→ アプリ内で24時間365日  
いつでもスタートできる！

- ・ 普通預金と区別でき、自動で簡単に貯蓄が可能に
- ・ 積み立て中でも口座名や目標金額などを変更可能！



このほか、メモ機能の追加、好金利商品等の導入予定！

研修の継続・強化

## 営業人材の質的向上!

### お客さまのストーリーに寄り添える人材の育成

#### お客さまごとのストーリーに基づく提案ができる社員の育成

- ・ 事業者支援、資産形成支援ともに研修を充実し、**継続的な営業社員の育成を推進**
- ・ 2026年度から開始した研修  
事業者支援 → 事業性融資ステップアップ研修  
資産形成支援 → マンツーマン研修

提案力をはじめとする能力を高める研修で、営業社員の「質」的向上を図る!

#### 事業者支援

New!

- ・ **事業性融資ステップアップ研修**  
→ 融資事務と提案力の両面を強化し、**トップレベル社員の育成を目指す**
- ・ **事業性融資実践ラボ**  
→ 案件発掘～実行まで対応できる社員の育成



#### 資産形成支援

New!

- ・ **マンツーマン研修**  
→ 社員別の課題に対応した研修
- ・ **リテール社員研修**  
→ 資産形成支援の基礎～実践まで**若手を中心に継続的に実施**



#### +αの施策

- ・ **フェロー制度**  
→ **専門的知識や経験のある担当者が若手を中心に**行員のOJTを担当
- ・ **各種セミナー**  
→ 営業スキルの習得、ナレッジの共有



営業社員の「質」的向上

事業者支援、資産形成支援の実効性向上

## 2026年4月24日新役員体制を発表！

S B I 連携強化、多様性向上、ガバナンスの充実などを通じて中期経営計画の実効性向上を図る

### ○ 目的

当行が地域に根差した地域金融機関としての役割をより一層果たしていくために、中期経営計画の実効性を高め、金融仲介機能の発揮を通じた**地域経済の活性化**、および**地方創生**に貢献する

### ○ ポイント

#### ■ S B I との連携強化、および多様性の向上とガバナンスの一層の充実

##### ① S B I との連携強化

- ▶ 当行とSBIグループとの連携を実務面で担ってきた中心的な人物を取締役副社長として迎え、知見を経営に取り込む

##### ② 多様性の向上

- ▶ 性別や経歴等の多様な人材を登用し、経営の多様性を高め、幅広い視点や専門性を取り込む
  - ・ 金融機関や、メディア関係など多様な経歴をもつ人材の登用
  - ・ 性別にとらわれない、能力や知見を重視した女性の登用

##### ③ ガバナンスの一層の充実

- ▶ 取締役における監督機能の強化や補欠監査役の選任など監査体制の充実
  - ・ 取締役を1名増員し、経営の監督と執行の役割分担を意識した体制整備
  - ・ 補欠監査役の選任など監査体制の充実

## 2026年度(2027年3月期)数値目標

項目	2027年3月期
当期純利益	8億円以上

金融仲介機能の発揮	
事業者支援先数	前年度比 約2%増 (6,300先)
資産形成先数	前年度比 約11%増 (38,300先)

**「デジタル」×「リアル」の両立で  
「最も相談しやすい金融機関」を目指す**



## 4. SBIとの連携

主要施策：資産形成支援

## 個人向けサービスの充実

### SBIグループ商品の取り扱いが増加！

#### SBI信用保証株式会社

2025年11月  
住宅ローン新商品導入

概要

- 「SBI信用保証住宅ローン」  
【本人やそのご家族が居住するための住宅資金】
  - ・住宅（新築・中古）・マンションの購入
  - ・ご利用中の住宅ローン借換え資金、リフォーム資金等
  - ・上記にかかる諸費用資金

- 「SBI信用保証住宅ローンアルファ」  
【上記の住宅資金 + おまとめ資金の併用が可能】

金額・期間 2億円以内・50年以内

#### SBI損保

2025年12月より  
2商品の取扱開始

地域金融機関  
初の取り扱い！



がん保険



海外旅行保険

従来取扱していた「SBI損保の自動車保険」に加え、  
当行のWebサイト経由でスムーズな申し込みが可能に

地域のお客さまの多様なニーズにお応えし、  
地域経済・地域社会の発展に貢献します！

## 地方創生の取り組み

### 2026年2月27日 SBI地方創生サービスズと「地方創生に向けた基本合意書」を締結！

#### ■ SBIグループとの「地方創生」に向けた取り組み

福島県における地方創生の取り組みを通じて地域経済の活性化に貢献するため、2026年2月27日に「地方創生に向けた基本合意書」を締結



「地方創生に向けた基本合意書」締結  
(左からSBI地方創生サービスズ 福留社長、当行 鈴木、ジローラモ氏)

#### 取り組み事例

##### 「令和の米騒動をジローラモが救う！ 定期預金」 (愛称：GIRO 米定期預金)

会津地方において農業を通じて「地方創生」に取り組むジローラモ氏とコラボレーション

→ **大好評をいただき、目標金額10億円を早期に達成！**



※ GIRO米…タレントのジローラモ氏が会津美里町で手掛けている、有機栽培にこだわった健康的なお米

**SBIグループとの連携を通じ、福島県の地域資源を生かした取り組みなど、  
地域を元気にする取り組みを推進します！**

職域ビジネス

## ふくぎん DCセミナー

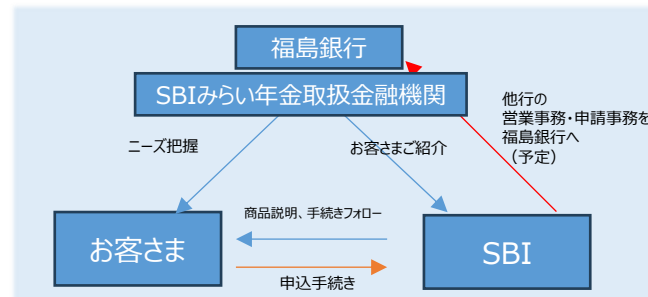
### 2026年4月 県内5地区で「ふくぎん DCセミナー」開催！

SBIネオファイナンスサービス株式会社より講師を招き、企業型DCの仕組みや導入効果、税制メリットなどを解説  
各地区合計で250人超のお客さまにご参加いただきました



### SBIみらい年金について

- SBIが提供する全国でプラットフォームを統一した企業型確定拠出年金
- 「SBIみらい年金」を取り扱う、全国の金融機関の「**営業事務の委託**」および「**申請事務の委託**」を当行が受ける見込み  
→ **収益力の更なる強化**を図る





## 5. 地域を元気にする取組み

## 第14回 障がい者施設製品大展示即売会

▶ 2019年開催以来、6年ぶりのリアル（対面）開催！

- 2011年の第1回から通算14回目の開催！  
震災後、福島県産品の販売が伸び悩むなか、  
地域金融機関として「福島県内での販売の場」を  
提供するための企画としてスタートしました  
（コロナ禍にはカタログ販売形式で継続開催）

<2025年開催時の様子>



**11/21,11/22の2日間開催**  
来場者：700人超 売上：約200万円

## 「ふくぎん地域元気プロジェクト」とは

「with ふくぎん『まち』を元気に」をコンセプトに若い世代と連携し地域を盛り上げる企画

### ● 第5弾 福島商業高校 カレーまつり



- 当行行員とクラウドファンディングについてミーティング



- 当日の販売ブース

「ふくぎん地域元気プロジェクト」第5弾では、福島県立福島商業高等学校とコラボレーションし、2025年9月13日～15日に開催された「TUFカレーまつり」へオリジナルカレーパンを出品する際のクラウドファンディングを利用した資金調達を支援しました。

### ● 第6弾 葵高校 なんでも展2



- オンラインミーティングと展示会ポスター (写真・画像ともに葵高等学校提供)



「ふくぎん地域元気プロジェクト」第6弾では、福島県立葵高等学校とコラボレーションし、美術展示会「なんでも展2」開催時のクラウドファンディングを利用した資金調達を支援しました。開催中は高校生をはじめ、100人以上の来場を達成されました。

## クラウドファンディングで地域を元気に！

▶ 当行は、地域のお客さまの資金調達や対外的なプロモーション等の課題解決に取り組んでおります

- **リニューアルオープン！福島県飯坂温泉『松島屋桃香』未来へつなぐ老舗の挑戦**



実行者	有限会社 松島屋旅館
目標金額	3,000,000円
募集期間	2025年4月25日～2025年6月15日

- **高校生が考えた『さわやかレーパン』をカレーまつりで販売したい！**



実行者	福島県立福島商業高等学校 商品開発部
目標金額	850,000円
募集期間	2025年9月2日～2025年9月30日

- **アートを身近に！会津の高校生が挑戦！！気軽に参加できる作品展を開催したい！！**



実行者	福島県立葵高等学校
目標金額	90,000円
募集期間	2025年9月22日～2025年10月31日

- **【親孝行温泉プロジェクト】大切な家族が安心して泊まれる“ベッド付客室”を未来へ**



実行者	有限会社吉川屋
目標金額	3,000,000円
募集期間	2025年11月1日～2025年12月26日

## クラウドファンディングで地域を元気に！

福島銀行 × CAMPFIRE 共同企画

東日本大震災復興支援クラウドファンディング「Next Lamp, Next Fukushima.」



- 福島県内の事業者で「クラウドファンディング」への挑戦を希望される方に対し、プロジェクト立ち上げから情報発信までを、**福島銀行とCAMPFIREが連携してサポート**
- 企画特典として、**通常は有償となる4つのオプションを無償で提供！**  
(募集期間 2026年3月9日～2026年12月30日)

- ① CAMPFIRE (Web サイト)「特集ページ」へのプロジェクト掲載
- ② プロジェクト設計 (企画提案～具体化) 段階からのサポート
- ③ プロモーション支援 (プレスリリース・ふくぎんアプリ広告等)
- ④ プロジェクト終了後のデータ分析・フィードバック(一定以上の支援金額を集めたプロジェクトに限ります。)

「DX」×「事業者支援」で

「福島の未来」に向けて地域事業者を後押し！

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	196億円
株主数	17,415名
従業員数	551名（うち正社員417名）
店舗数	57店舗（5出張所、30-70店舗、1補支店含む）
預金残高	7,594億円
預かり資産	1,220億円
貸出金残高	6,204億円（私募債含む）
自己資本比率	8.77%（単体）、9.18%（連結）
金融再生法 開示債権比率	1.92%
連結子会社	(株)ふくぎんリース&クレジット (株)東北バンキングシステムズ (株)ふくぎん地域活性化投資

【2026年3月末現在】

**（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 小野寺好孝、金成洋輔 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338**

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。